

令和4年度事業報告書概要（辰巳の森海浜公園外7公園）

指定管理者：東京港埠頭株式会社

1 管理状況

○ 適切な管理の履行

・辰巳の森海浜公園の緑地管理と建物管理

利用者がニュースポーツや遊具広場等の公園施設を快適に利用できるよう、基準を超えて除草や芝刈りを行いました。また、公園に滞在する時間をより快適に過ごしていただくよう、衛生器具や受付窓口等の清掃を適切に行いました。

・辰巳の森海浜公園、新木場公園のバーベキュー利用者への対応

新型コロナウイルス感染症リバウンド警戒期間などの都の方針に基づき、バーベキューの利用人数制限を設け、またエリア内ではスタッフが常駐し密とならないよう管理するとともに、団体客への注意喚起を行いました。

・晴海ふ頭公園、晴海緑道公園のスケートボード利用対策

防止リングや防止ブロックを設置したほか、巡回時の注意、スケートボード禁止の看板設置などを行いました。また、スケートボード利用者に対しては、公園のルールを説明した上でスケートボードができる夢の島スケートパークを紹介し、適切な公園利用を促しました。



< 防止リングや防止ブロック、注意喚起看板の設置 >

・辰巳の森公園のドッグラン利用ルールの徹底

ドッグランは多くの利用者がある一方で、ルールやマナーが守られていないなどの問合せがあったため、愛犬から目を離さないことや排泄物の持ち帰りなど、利用ルールとマナーについて、巡回時の声掛けや看板設置、しつけ教室での周知により徹底しました。

○ 安全性の確保

・辰巳の森海浜公園の暑さ対策への取り組み

公園入口の東屋、シャフルボード施設のベンチに日よけがなかったため、熱中症対策として、東屋には遮光ネット、ベンチにはパラソルが設置できるように補強施工し、快適な利用環境を整備しました。



< 遮光ネットの設置 >

・晴海ふ頭公園、晴海緑道公園の安全対策

晴海緑道公園の釣りエリアに50m間隔で10箇所救命浮環を設置しました。また、利用に関する詳細な案内板や路面標示を設置し巡回警備も強化するなど対策を行い、安全・安心な利用環境を提供しました。

2 事業効果

○ 事業の取組

- ・辰巳の森海浜公園 辰巳健康スポーツフェスティバル

6年ぶりに開催し、既存のニュースポーツに加え、新たに導入したタグラグビー初心者教室は、子供たちがニュースポーツに触れる機会を提供するとともに、地元のタグラグビーチーム等との地域連携強化及び公園の賑わい創出にもつながり、フェスティバルの参加者は目標人数を上回りました。



【ニュースポーツ体験】



【タグラグビー教室】



【紙飛行機教室】

<辰巳健康スポーツフェスティバル>

- ・辰巳の森海浜公園 地域との協働による桜並木の後継樹づくり

公園内の一部の桜は樹勢の衰退がみられ、美しい桜並木を守っていくために、地域住民と協働・連携して衰弱した桜の撤去や補植作業を実施し、次世代に継続するため公園環境整備を行いました。

- ・晴海ふ頭公園、晴海緑道公園 東京2020大会レガシーの継承や東京港の歴史の紹介

公園内にある、選手村の木材を使用したパーゴラや大会の銘板などの大会レガシーをホームページで紹介し、大会の記憶やレガシーの継承につなげました。また、園内の石垣は台場の石材を使用していることや台場の歴史もホームページに掲載することで、東京港の歴史についても発信しました。



【パーゴラ】



【銘板】



【石垣】

<レガシーの継承・東京港の歴史紹介>

○ 利用の状況

- ・辰巳の森海浜公園

令和4年4月に東京2020大会後の整備工事が完了し、公園施設が全面的に再開しました。再開にあたって、手続きのWEB化や積極的な情報発信を行い、前年度に比べ利用者が増加しました。

○ 行政目的の達成

- ・辰巳の森海浜公園の芝生養生

東京2020大会の現状復旧工事が行われた芝生広場について、大会組織委員会から引継ぎ、芝生を活着させ養生ネットの撤去などを行い、GWの利用に間に合わせるよう整備しました。

3 収支状況（単位：千円）		
項目		金額（税込）
収入計		209,877
内訳	指定管理料	209,877
	利用料金	0
支出計		211,315
収支差		-1,438

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。